

## 防災と災害時緊急対策に関するアンケート調査結果

国立大学図書館協会セミナー「災害と図書館」(2022年10月12日開催)にあたって、国立大学図書館協会加盟館を対象に実施した2件のアンケート調査のうち、「調査1:防災と災害時緊急対策に関するアンケート調査」の結果である。あわせて、1995年に実施した調査との比較を示す。

1 「調査1:防災と災害時緊急対策に関するアンケート調査」結果	p.2-6
2 (別紙)アンケート調査項目	p.7-9
3 1995年調査と2022年調査との比較	p.10-11
4 (参考)1995年の調査結果	p.12-16

2022年10月

国立大学図書館協会セミナー実施担当:広島大学図書館

# 1 「調査1:防災と災害時緊急対策に関するアンケート調査」結果

※中央館に該当する館の状況

・実施期間:2022年8月9日～9月20日

・対象:国立大学図書館協会加盟館(国立大学86館、大学共同利用機関6館)

・回答数:69(回答率75%)

## 1. 機関の規模

A:8学部以上	16/20(80%)	
B:7～5学部	17/20(85%)	
C:4～2学部	13/19(68%)	
D:単科・その他	23/33(70%)	計 69/92(75%)

## 2. 貴館における防災・安全管理体制についてお尋ねします。

(「防災」には自然災害の他に、防火(消防)や日常的な事故防止等も含みます)

(1)図書館の事業継続計画(BCP)が整備されていますか。

① 整備されている	23(33%)
② 整備に向けて検討している	20(29%)
③ 整備する予定はない	15(22%)
④ よくわからない	11(16%)

(2)過去3年間(2019年度・2020年度・2021年度)に、防災(消防)訓練に参加／実施しましたか。

① 参加／実施した	64(93%)
② 参加／実施していない	5(7%)

(3)過去3年間(2019年度・2020年度・2021年度)に、どのような防災(消防)訓練に参加／実施しましたか(複数回答可)。

地震	シェイクアウト	41(59%)
	対策本部設置	30(43%)
	避難誘導	39(57%)
	非常時参集	23(33%)
	安否確認	48(70%)
消防	通報	33(48%)
	避難誘導	40(58%)
	消火器の取扱い	36(52%)

	消火栓の取扱い	21(30%)
	避難器具の取扱い	17(25%)
浸水・津波	避難誘導	3(4%)
その他		9(13%)

「その他」の内容

- ・2019年度(2020年1月31日)に、体験型危機管理訓練として、地震・事故等危機的事案の発生シナリオを事前に通知しない、ブラインド・シミュレーションの形態による、防災訓練を実施しました。
- ・AEDを用いた救命体験訓練
- ・あらかじめ決められている本部要員(教育研究施設復旧班)としての対応、トランシーバー操作、避難経路の確認、本部へのチェックリスト提出訓練
- ・煙体験も実施。2020年度と2021年度には防災訓練代替の講演会に参加。
- ・防災講演会に参加した
- ・簡易トイレ組み立て展示
- ・消防(避難経路や器具の場所の確認、防災ビデオ視聴)
- ・大学全体で実施している防災訓練(安否確認・避難誘導・避難訓練・図書館フロアでのイベント(避難訓練VR・防災用品展示・救命講習等あり))
- ・無線機操作訓練、発電機訓練、エレベータ扉開放訓練、建物応急危険度判定訓練研修

(4) 職員への防災意識の啓蒙をどのように図っていますか(複数回答可)

① 館内の会議・研修等で啓蒙を図っている	15(22%)
② 防災あるいは防火運動等の機会に啓蒙を図っている	44(64%)
③ 防災マニュアルの作成及び職員への周知	48(70%)
④ 特にしていない	2(3%)
⑤ その他	2(3%)

「その他」の内容

- ・2021年度に「令和3年度国大図協地区協会助成事業」として、図書館の防災に関する講習会を開催しました。講演会「図書館の防災を考える：実践的危機管理訓練の有用性」参考URL) <https://www.library.osaka-u.ac.jp/pr/kensyu/>
- ・消防訓練時に防災意識の向上を図っている。また国立大学図書館協会近畿地区事業により防災に係る研修を不定期に実施している。(例：2021年「図書館の防災を考える：実践的危機管理訓練の有用性」)

(5)図書館の防災体制は職員不在の時間外開館時に、その機能を発揮すると考えられますか。

- |             |         |
|-------------|---------|
| ① 発揮できる     | 14(20%) |
| ② 発揮できない    | 17(25%) |
| ③ どちらとも言えない | 38(55%) |

3. 貴館における緊急時の体制についてお尋ねします。

(1)緊急時の職員の責任(分担)体制は明確になっていますか。

- |             |         |
|-------------|---------|
| ① 明確になっている  | 46(67%) |
| ② 明確になっていない | 8(12%)  |
| ③ どちらとも言えない | 15(22%) |

(2)身体障害者への緊急時の対応は十分ですか。

- |             |         |
|-------------|---------|
| ① 十分である     | 4(6%)   |
| ② 十分ではない    | 31(45%) |
| ③ どちらとも言えない | 34(49%) |

(3)留学生への緊急時の対応は十分ですか。

- |             |         |
|-------------|---------|
| ① 十分である     | 4(6%)   |
| ② 十分ではない    | 31(45%) |
| ③ どちらとも言えない | 34(49%) |

4. 貴館における建物・防災設備・書架等の安全対策についてお尋ねします。

(1)建物の危険個所及び防災(消防、避難)設備並びに書架等備品の安全点検を実施していますか。

- |                 |         |
|-----------------|---------|
| ① 日常的に実施している    | 17(25%) |
| ② 機会をとらえて実施している | 49(71%) |
| ③ 実施していない       | 2(3%)   |
| ④ よくわからない       | 1(1%)   |

(2)事務スペースの書架・書類庫・机等に対して防災対策をしていますか。

- |            |         |
|------------|---------|
| ① 対策をしている  | 63(91%) |
| ② 対策をしていない | 4(6%)   |
| ③ よくわからない  | 2(3%)   |

(3) 書架に対する安全対策はどのようになっていますか(複数回答可)。

① 上部連結	66(96%)
② 床固定	65(94%)
③ 壁固定	60(87%)
④ 傾斜棚を設置	7(10%)
⑤ 感震式/手動式落下防止装置を設置	25(36%)
⑥ 落下抑制テープ・シート等を貼付	21(30%)
⑦ 対策していない	0(0%)
⑧ よくわからない	1(1%)

(4) 集中豪雨等に備えて建物の周辺/屋上等の排水溝等の点検をしていますか

① 点検している	58(84%)
② 点検していない	8(12%)
③ よくわからない	3(4%)

(5) 地震災害時に空調システムからの漏水あるいは消火システム等による図書館資料の水損等、二次災害の恐れはありませんか。

① 恐れがある a. 防止策を講じている	8(12%)
b. 防止策を講じていない	36(52%)
② 恐れはない	6(9%)
③ よくわからない	19(28%)

(6) 図書館業務システム(機関リポジトリ・デジタルアーカイブ等を含む)の防災対策をしていますか。

① 対策をしている	64(93%)
② 対策をしていない	2(3%)
③ よくわからない	3(4%)

(7) (6)で「対策をしている」場合、その内容をお答えください(複数回答可)。

① データのバックアップ作成	52(75%)
② データの遠隔地保存	32(46%)
③ その他	13(19%)

「その他」の内容 (※先頭の数字は同じ内容の回答があった館の館数)

- ・(3)無停電電源装置(UPS)の設置
- ・(3)クラウド化

- ・(2)サーバの転倒防止
- ・サーバ室に自家発電設備がある
- ・外部サーバの利用
- ・サーバを耐震性の高い建物内に設置
- ・地震対策のためサーバを地下に設置
- ・浸水リスク低減のためサーバ室を3階に設置
- ・防災対策を施したデータセンターでデータを保管
- ・バックアップメディアを耐火金庫に保管

5. その他、図書館の防災・安全管理についてご意見等がありましたら、ご記入ください。

- ・過去にBCPを整備したが、見直しをしていないので、現在の有効性がわからない。
- ・マニュアル・分担表はあるが、担当者不在時の対応が未整備など、十分ではない。
- ・緊急時にマニュアル・分担表どおり動けるか不安がある。
- ・災害リスクが増加傾向にあるなか、幅広い構成員が集まる大学図書館にとっての防災・安全管理もさらに重要性を増している。身体障害者や留学生への緊急時対応等、今後の課題としたい。
- ・実際には、残留者の確認および避難誘導と二次災害の恐れを総合的に判断することは難しいと思われる。
- ・設問「4(5)」の回答「③よくわからない」に関する補足：空調システムからの漏水には特に防止策を講じていないが、消火システムについては、液体窒素による消火設備を備えた貴重図書室がある。
- ・保安灯の設置等

## 2 (別紙)アンケート調査項目

「調査1:防災と災害時緊急対策に関するアンケート調査」

※中央館に該当する館の状況をご回答ください。

1. 機関名、回答者名、問合せ先メールアドレス、機関の規模(A:8学部以上、B:7～5 学部、C:4～2 学部、D:単科・その他)

2. 貴館における防災・安全管理体制についてお尋ねします。

(「防災」には自然災害の他に、防火(消防)や日常的な事故防止等も含まれます)

(1) 図書館の事業継続計画(BCP)が整備されていますか。 ※事業継続計画については、例えば <https://www.bousai.go.jp/kyoiku/kigyuu/keizoku/sk.html>

- ① 整備されている ② 整備に向けて検討している ③ 整備する予定はない  
④ よくわからない

(2) 過去3年間(2019 年度・2020 年度・2021 年度)に、防災(消防)訓練に参加／実施しましたか。

- ① 参加／実施した ② 参加／実施していない

(3) 過去3年間(2019 年度・2020 年度・2021 年度)に、どのような防災(消防)訓練に参加／実施しましたか(複数回答可)。

地震(シェイクアウト(一斉に机の下に避難する訓練)・対策本部設置・避難誘導  
・非常時参集・安否確認)

消防(通報・避難誘導・消火器の取扱い・消火栓の取扱い・避難器具の取扱い)

浸水・津波(避難誘導)

その他(具体的内容を記入してください)

( )

(4) 職員への防災意識の啓蒙をどのように図っていますか(複数回答可)

- ① 館内の会議・研修等で啓蒙を図っている  
② 防災あるいは防火運動等の機会に啓蒙を図っている  
③ 防災マニュアルの作成及び職員への周知  
④ 特にしていない  
⑤ その他に防災・減災活動をおこなっていましたが、その内容を記入してください

( )

(5) 図書館の防災体制は職員不在の時間外開館時に、その機能を発揮すると考えられますか。

- ① 発揮できる      ② 発揮できない      ③ どちらとも言えない

3. 貴館における緊急時の体制についてお尋ねします。

(1) 緊急時の職員の責任(分担)体制は明確になっていますか。

- ① 明確になっている      ② 明確になっていない      ③ どちらとも言えない

(2) 身体障害者への緊急時の対応は十分ですか。

- ① 十分である      ② 十分ではない      ③ どちらとも言えない

(3) 留学生への緊急時の対応は十分ですか。

- ① 十分である      ② 十分ではない      ③ どちらとも言えない

4. 貴館における建物・防災設備・書架等の安全対策についてお尋ねします。

(1) 建物の危険箇所及び防災(消防、避難)設備並びに書架等備品の安全点検を実施していますか。

- ① 日常的に実施している      ② 機会をとらえて実施している  
③ 実施していない      ④ よくわからない

(2) 事務スペースの書架・書類庫・机等に対して防災対策をしていますか。

- ① 対策をしている      ② 対策をしていない      ③ よくわからない

(3) 書架に対する安全対策はどのようになっていますか(複数回答可)。

- ① 上部連結      ② 床固定      ③ 壁固定      ④ 傾斜棚を設置  
⑤ 感震式／手動式落下防止装置を設置      ⑥ 落下抑制テープ・シート等を貼付  
⑦ 対策していない      ⑧ よくわからない

(4) 集中豪雨等に備えて建物の周辺／屋上等の排水溝等の点検をしていますか

- ① 点検している      ② 点検していない      ③ よくわからない

(5) 地震災害時に空調システムからの漏水あるいは消火システム等による図書館資料の水損等、二次災害の恐れはありませんか。

- ① 恐れがある(a. 防止策を講じている b. 防止策を講じていない)  
② 恐れはない      ③ よくわからない





### 3 1995年調査と2022年調査との比較

国立大学図書館協会加盟館を対象として「防災と災害時緊急対策に関するアンケート調査」2022年8月9日～9月20日におこなったが、同名の調査が1995年10月にもおこなわれている。そこで両調査のうち共通する設問について比較した。なお1995年調査の集計結果は円グラフで示されており、多くの場合、数値の記載がなかったため、以下の表で使用する数値は円グラフから推定したものである。詳細は次項4を参照。

	1995 調査		2022 調査	
回答数(回収率)	99/99(100%)		69/92(75%)	
2(2) 防災訓練への参加	大学・参加	68(69%)	参加	64(93%)
	大学・不参加	26(26%)	不参加	5(7%)
	図書館・実施	17(17%)		
	図書館・未実施	82(83%)		
	※1995年調査では、「大学」がおこなう防災訓練と「図書館」が独自におこなう防災訓練とを分けて調査していたが、単科大学などは図書館で独自に防災訓練をおこなうことは少ないと考えたので、2022年調査ではひとつにまとめた。			
2(4) 防災意識の啓蒙(複数回答)	①館内の会議・研修等	17(17%)	①館内の会議・研修等	15(22%)
	②防災運動等	71(72%)	②防災運動等	44(64%)
	③特にしていない	20(20%)	③マニュアルの周知	48(70%)
	④ その他	5(5%)	④特にしていない	2(3%)
			⑤その他	2(3%)
2(5) 時間外開館時等の防災体制	発揮できる	29(29%)	発揮できる	14(20%)
	発揮できない	19(19%)	発揮できない	17(25%)
	どちらとも言えない	47(47%)	どちらとも言えない	38(55%)
3(1) 職員の責任体制	明確	62(63%)	明確	46(67%)
	不明確	18(18%)	不明確	8(12%)
	どちらとも言えない	18(18%)	どちらとも言えない	15(22%)
3(2) 身体障害者への対応	十分	12(12%)	十分	4(6%)
	十分ではない	54(55%)	十分ではない	31(45%)
	どちらとも言えない	30(30%)	どちらとも言えない	34(49%)
4(1) 建物・防災設備等の安全点検	日常的に実施	16(16%)	日常的に実施	17(25%)
	機会をとらえて実施	68(69%)	機会をとらえて実施	49(71%)
	実施していない	14(14%)	実施していない	2(3%)
			よくわからない	1(1%)

	1995 調査		2022 調査	
4(2) 書架・書類 庫等の対策	実施	34(34%)	実施	63(91%)
	未実施	64(65%)	未実施	4(6%)
			よくわからない	2(3%)
4(5) 災害時の 配管等からの漏 水	恐れがある	55(56%)	恐れがある	44(64%)
	恐れはない	43(43%)	恐れはない	6(9%)
			よくわからない	19(28%)
4(5) 漏水の恐 れがある場合の 防止策	講じている	2/55(4%)	講じている	8/44(18%)
	講じていない	1/55(93%)	講じていない	36/44(82%)
	(無回答	2/55(4%))		

## 4 (参考)1995年の調査結果

1995年10月におこなわれた「防災と災害時緊急対策に関するアンケート調査」の調査項目と集計結果は、1996年3月に発行された報告書「防災と災害時緊急対策調査研究班 調査報告」に掲載されている。しかし、同報告書の集計結果は円グラフで示されており、多くの場合、数値の記載がなかったため、以下に円グラフから推定した数値を示す。なお、同報告書は下記URLからダウンロード可能。

[https://www.janul.jp/sites/default/files/56\\_report\\_199607.pdf](https://www.janul.jp/sites/default/files/56_report_199607.pdf)

1 貴館における日常的な防災・安全管理体制についてお尋ねします。（「防災」には自然災害の他に、防火及び日常的な事故防止の意味も含めて回答をお願いいたします。）

(1)大学の防災規定・組織に基づいた図書館としての防災規定・組織が整備されていますか。

① 整備されている	44	44%
② 整備されていない	54	55%
(無回答)	1	1%

(2)図書館として防災・安全管理について検討する委員会等を設置していますか。

① 設置している	16	16%
② 設置していない	82	83%
(無回答)	1	1%

(3)過去3年間、大学の防災(消防)訓練に参加しましたか。

① 参加している	68	69%
② 参加していない	26	26%
(無回答)	5	5%

(4)過去3年間、図書館として独自に防災(消防)訓練を行いましたか。

① 行った	17	17%
② 行っていない	82	83%

■「行った」の場合、以下の事項にお答えください。

① 職員のみ	10	59%
② 利用者も参加	7	41%

(5) 日常的に職員への防災意識の啓蒙をどのように図っていますか。(複数回答可)

① 館内の会議・研修等で常に啓蒙を図っている	17	17%
② 防災あるいは防火運動等の機会に啓蒙を図っている	71	72%
③ 特にしていない	20	20%
④ その他(具体的内容を記入してください。)	5	5%

(6) 図書館の防災体制は職員不在の時間外開館あるいは緊急時に、その機能を発揮すると考えられますか。

① 発揮できる	29	29%
② 発揮できない	19	19%
③ どちらとも言えない	47	47%
(無回答)	4	4%

(7) この度の「阪神・淡路大震災」を機として、図書館の防災体制の見直しあるいは具体的な対策を実施しましたか。

① 対策を実施した	12	12%
② 対策を検討した	21	21%
③ 検討予定である	54	55%
④ 検討予定なし	12	12%

2 貴館における緊急時の体制についてお尋ねします。

(1) 図書館と学内及び学外の関係部署との緊急連絡体制は整備されていますか。

① 整備されている	83	84%
② 整備されていない	15	15%
(無回答)	1	1%

(2) 職員は緊急時の連絡先及び連絡事項等を認識していると考えられますか。

① 認識している	52	53%
② 認識していない	11	11%
③ どちらとも言えない	34	34%
(無回答)	2	2%

(3) 緊急時の情報伝達手段として、一般電話以外にどのような手段の利用が可能ですか。(複数回答可)

① インターネット、パソコン通信等	56	57%
② 携帯電話、行政電話等	36	36%

③ 防災無線、トランシーバー等	10	10%
④ その他(具体的伝達手段を記入してください。)	8	8%

(4) 緊急時の職員の責任(分担)体制は明確になっていると考えられますか。

① 明確になっている	62	63%
② 明確になっていない	18	18%
③ どちらとも言えない	18	18%
(無回答)	1	1%

(5) 身体障害者への緊急時の対応は十分ですか。

① 十分である	12	12%
② 十分ではない	54	55%
③ どちらとも言えない	30	30%
(無回答)	3	3%

(6) 緊急時の利用者及び職員の安全(避難誘導體制、避難ルート等)は確保されていると考えられますか。

① 確保されている	67	68%
② 確保されていない	7	7%
③ どちらとも言えない	24	24%
(無回答)	1	1%

(7) 緊急時の初動体制は充分と考えられますか。

① 十分である	44	44%
② 十分ではない	25	25%
③ どちらとも言えない	29	29%
(無回答)	1	1%

3 貴館における建物・防災設備・書架等の安全対策についてお尋ねします。

(1) 日常的に建物の危険箇所及び防災(消防、避難)設備並びに書架等備品の安全点検を実施していますか。

① 日常的に実施している	16	16%
② 機会をとらえて実施している	68	69%
③ 実施していない	14	14%
(無回答)	1	1%

(2) 事務スペースの書架・書類庫・机等に対して防災対策をしていますか。

① 対策をしている	34	34%
② 対策をしていない	64	65%
(無回答)	1	1%

■「対策をしている」の場合、その対象をお答えください。(複数回答可)

① 書架	26	26%
② 書類庫	8	8%
③ 机	0	0%
④ コンピュータ端末	2	2%

(3) 閲覧スペースの書架に対する安全対策はどのようになっていますか。(複数回答可)固定書架

① 上部連結	85	86%
② 床固定	47	47%
③ 壁固定	45	45%
④ 対策なし	7	7%

(4) 書庫スペースの書架に対する安全対策はどのようになっていますか。(複数回答可)固定書架

① 上部連結	68	69%
② 床固定	38	38%
③ 壁固定	34	34%
④ 対策なし	7	7%

(5) 災害時に空調システムあるいは消火システム等による図書館資料の水損等、二次災害の恐れはありませんか。

① 恐れがある	55	56%
② 恐れはない	43	43%
(無回答)	1	1%

■「恐れはある」の場合、防止策を講じていますか

① 講じている	2	4%
② 講じていない	51	93%
(無回答)	2	4%

(6)この度の「阪神・淡路大震災」を機に、建物の危険個所の有無及び書架等備品の安全対策の見直しあるいは新たな対策をしましたか。

① 対策を実施した	12	12%
② 対策を検討した	21	21%
③ 検討予定あり	57	58%
④ 検討予定なし	7	7%
(無回答)	2	2%

(7)貴館では防災用品を備えていますか。

① 備えている	55	56%
② 備えていない	43	43%
(無回答)	1	1%

4 災害復旧の協力についてお尋ねします。

(1)被災地域(館)への協力として、貴館が提供可能な支援にはどのようなことが考えられますか。

(複数回答可)

① 被災大学学生の図書館利用	96	97%
② 職員の派遣支援	62	63%
③ その他(具体的内容を記入してください。)	9	9%

(3)近隣の大学と、災害復旧のための連携協力について検討したことがありますか。

① 検討したことがある	4	4%
② 検討したことはない	94	95%
(無回答)	1	1%